

平成 25 年（2013 年） 9 月那覇市議会定例会

一 般 質 問 発 言 通 告 書 （ 1 日 目 ）

平成 25 年 9 月 13 日（金）

※ 1 人当たり 15 分間（答弁を除く）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	翁 長 大 輔 (日本共産党) 質問方式 一問一答方式 (演壇・質問席)	1 歴史散歩道整備事業について 2 那覇市における非正規雇用の実態について 3 母子寡婦福祉資金貸付制度について 4 安謝地域の里道整備について	沖縄らしい魅力的な観光地づくりのための歴史散歩道整備事業は重要である。歴史ある古都首里で対象路線を増やすべきである。また、観光振興と都市景観の向上を図るとともに、地域の生活環境の改善にもつなげるべきである。当局の見解を問う (1) この 5 年間で那覇市の非正規雇用や所得 200 万未満の労働者数、無業者数はどのように変化したのか。全国との比較を問う (2) 2012 年度における那覇市の企業誘致や雇用・人材育成事業等について、決算額とその雇用の実態を問う。正規雇用拡大と待遇改善を行うべきである。当局の見解を問う 母子寡婦福祉資金制度は、経済的自立や児童福祉の増進のために大変重要な制度である。中核市那覇市の事業に相応しく、市民により身近できめ細やかな制度へと要綱の改正を行うべきである。当局の見解を問う 安謝小学校付近の広範な里道地域は、凹凸が激しく側溝にふたの無い区間もあり危険である。生活環境の改善を図るためにも早急に整備すべきである。当局の見解を問う 【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（１日目） 平成 25 年 9 月 13 日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	坂 井 浩 二 (無 所 属)	1 教育行政について	(1) 本市内小中学校について、スポーツ県外派遣助成に対する実績件数と金額はそれぞれ何件か。過去3年間の推移を伺う (2) 2020年東京オリンピックが正式に決定した。7年後の実施に向けて、本市でも人材育成支援策を拡充し、支援体制を更に強化すべきであると考えているが、翁長市長の見解を伺う (3) 小学校6年生、中学校3年生を対象にした2013年度全国学力テストの結果において沖縄県は全国最下位という結果が公表された。以下伺う ① 学力向上対策として本市はこれまでどのような取り組みを行っていたのか ② これまで様々な学力向上対策に取り組んできているにも関わらず、思うように成果が上がらないのは何故か、主な要因について教育長の見解を伺う
		2 子ども行政について	(1) 待機児童解消対策として、これまでも「分園の増設」及び「認証保育所の創設」等々、多くの解消策の議論が本市議会においてもなされてきている。当局も本腰を入れて最重要課題としての取り組みを本格化させる時期にきているが、今後の明確な方向性を伺う (2) 待機児童解消対策の一環として「行政」、「保育園園長会」、「幼稚園園長会」、「保護者連合会」、「有識者」等を一堂に会し、「子ども・子育て支援会議」を実施し、相互理解と、真の待機児童ゼロに向けた総合的な対策を図るべきである。当局の見解を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 観光行政について	先だつての6月定例議会においても取り上げた波の上ビーチの利活用について以下伺う (1) 新聞報道でもあるとおり、波の上ビーチ周辺の海底に、トンネル工事に際しての穴が確認された。本市がこの問題について認識したのはいつか (2) 本市はこの問題についてどのような対応策を行ったのか伺う
		4 ぶんかテンプス館の利用について	那覇市ぶんかテンプス館条例の改正に伴い、現在入居している「FM琉球株式会社」の退去について陳情書が提出され問題化している。そこで以下伺う (1) テンプス館にFM琉球株式会社が入居した経緯について (2) この時期に条例を改正する必要性は何か
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（１日目） 平成 25 年 9 月 13 日(金)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	仲 松 寛 (自由民主党)	1 保育行政について	待機児童問題について 本市の待機児童数は４月１日現在で 439 人となっており、中核市の中では人口 10 万人当たりでワーストワンである。ついては、次の事項について伺う (１) 待機児童解消に向けた本市のこれまでの取り組みと待機児童数の推移について (２) 待機児童解消に向けた今後の取り組みについて
		2 福祉行政について	待機高齢者問題について 厚労省の調査では特別養護老人ホームは全国に約 6 千箇所あり、約 41 万人が入居し、特別養護老人ホームの入所待機者数は全国で約 41 万人となっている。ついては、次の事項について伺う (１) 本市における待機者数の推移について (２) 待機者の生活の場である自宅、施設、病院等の居場所の割合について (３) 待機者の身体的状況（要介護度）の割合について
		3 地場産業の育成について	地元のお酒で乾杯を勧める条例について 「乾杯には地元の酒を飲用する」等の趣旨で京都市をはじめ、佐賀県鹿島市、兵庫県加東市、東広島市、鹿児島県いちき串木野市等で乾杯条例の制定が相継いでいる 本市においても古くから親しまれている県産の泡盛による乾杯の習慣を広める事で酒造業、その他関連する産業発展及び郷土愛を深め、泡盛の普及を通した沖縄文化への理解の促進に寄与すると思うが、当局の見解を求める
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（１日目） 平成 25 年 9 月 13 日(金)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	上 原 快 佐 (社 大 党)	1 那覇空港周 辺地域におけ る騒音問題に ついて	(1) 那覇市内における航空機の騒音に対して の本市の現状認識及び今後の対策、県や国と の連携状況について伺う (2) 深夜便の増加及び第二滑走路建設による 本市への騒音の予測及び対策について伺う
	質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)	2 真嘉比・古 島地域におけ る信号機及び 道路標識の設 置について	真嘉比・古島地域における信号機及び道路標 識設置に対する具体的な取り組みについて伺う
		3 伝統文化の 振興について	(1) 那覇市文化振興基本計画の進捗及び検証 結果を伺う (2) 今後の文化振興（伝統工芸）に対する方向 性（県との連携の方法等）について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（１日目） 平成 25 年 9 月 13 日(金)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	我如古 一 郎 (日本共産党) 質問方式 一問一答方式 (演壇・質問席)	1 生活保護行政について	(1) 憲法 25 条で規定された生存権を保障する社会保障制度としての生活保護制度の意義と役割を問う (2) 8 月から実施された保護基準引き下げの根拠及び保護費の削減による影響を問う 70 歳夫婦世帯、母 30 代で小学生の子供 2 人の母子世帯、夫婦 40 代で小学生と中学生の世帯のそれぞれの削減額はいくらか (3) 生活保護基準は、国民の税金のかからない基準、労働者の最低賃金や年金、子どもたちの就学援助適用などの目安であり、国民生活を支える基準である。その引下げは国民生活の土台を揺るがし、国民の生活基準を引き下げるもので、国に対して、引き下げを中止し、元に戻すことを求めるべきである。見解を問う
		2 子どもの貧困対策について	(1) 2013 年 6 月に成立した「子どもの貧困対策推進法」の趣旨と本市の取り組みを問う (2) 福祉行政の立場から、保護世帯や母子世帯などの低所得世帯の子どもたちへの支援は、貧困の連鎖を断ち切るために必要である。高校在学の支援、大学進学へのサポートなど総合的な対策が必要ではないか。見解を問う
		3 教育行政について	(1) 本市の 2 学期制が導入されてからモデル校で 10 年、全市で 8 年になるが、その狙いとした成果を得られているのか。検証すべきではないか (2) 2 学期制は期待された効果が得られていないとして、全国で 3 学期制に戻す自治体が増大している。沖縄でも宜野湾市が 2014 年度から 3 学期制に戻すことを決定した。3 学期制に戻した理由の主なものは何か

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 水害対策について	(3) 8月28日発表の全国学力テストで本県は最下位から脱していない。2学期制のうたい文句であった、学力の向上には、効果が証明されていないと言える。点数至上主義の学力テストで子どもたちを評価するのではなく、真の学力を養うためには、学ぶ楽しさが味わえる授業の改善と、少人数学級の拡大、教師の多忙化を解消する抜本的な対策こそ行うべきである。教育委員長の見解を問う (4) 文科省がすべての学年に少人数教育を推進するとして、来年度から3万人の教員採用拡大の計画をまとめている。本市の受け入れ態勢を作る必要がある。少人数教育推進計画(仮称)を作ることが必要ではないか 那覇市の9月8日の大雨は79ミリの雨量になった。全国的にゲリラ豪雨が問題になっている中で、本市の水害対策及び雨水の有効活用について問う また、世界遺産識名園前の真地十字路は、この雨量で道路が冠水する。側溝の断面を拡大し、集中豪雨に対応できるよう改善すべきではないか
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育委員長、教育長、 関係部長

一般質問（１日目） 平成 25 年 9 月 13 日(金)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	知 念 博 (自 民 党 新 風 会)	1 環境行政について	那覇市民共同墓及び納骨堂建設工事計画概要と進捗状況、利用形態等について伺う
	質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)	2 しまくとぅば普及について	県文化振興課「しまくとぅば」普及推進行動計画（案）が策定されたが、本市のこれまでの取り組み状況と今後の取り組みについて伺う
		3 市民文化行政について	(1) パレット市民劇場・市民会館・ぶんかテンプス館の使用申し込み方法と受付期間について伺う (2) 休館日の設置目的とその設置日について伺う
		4 福祉行政について	(1) 地域活動支援センターⅡ型事業の目的と本市の実施状況、事業内容、利用状況について伺う (2) 本市の自動販売機設置状況について伺う。新庁舎の公募による設置について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（１日目） 平成 25 年 9 月 13 日(金)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	花 城 正 樹 (なは民主) 質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)	1 ふるさとづくり寄附金について 2 6次産業化について 3 こくばめーばる公園の遊具について 4 成人式のあり方について 5 生徒サポート会議(家庭教育支援会議)	納税額が伸び悩んでいたため、リニューアルして盛り返しを図ろうと、福岡市は寄附した人に記念品として特産品のイチゴ「あまおう」やカキを渡している。これまでは博多祇園山笠の法被をかたどった手ぬぐいなどを記念品にしていたが、全国の注目を集めるため農水産品を採用することにした。また、コンビニエンスストアでも納付できるようにし、いつでも受け付ける態勢を整えた (1) 本市における寄附金額の推移(5年間)を伺う (2) 特産品プレゼントや寄附のありかた等PR方法を検討すべきである。見解を伺う 本県においても農水畜産物を活用した商品開発や販路拡大など6次産業化が活発化している。付加価値の高い商品開発や本市の特産物をアピールする意味でも6次産業化は重要だと考える。本市の取り組みについて伺う 地域住民から遊具設置についての要望があれば検討して欲しい。当局の見解を伺う 先日、成人式のあり方を考える成人式市民フォーラムが開かれた。関係者から様々な提案が出された中で、今後の成人式にどう活かしていくのか見解を伺う 仲井真中校区では、支援を要する生徒及び保護者に対して支援活動を行うことを目的に生徒サポート会議が開かれた。地域の子どもたちは、地域で見守っていく！というテーマで、各関係団体の連携が強化されることは素晴らしいと考える。本市中学校における取り組みについて伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（１日目） 平成 25 年 9 月 13 日(金)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
8	平 良 仁 一 (自 民 党 新 風 会)	1 小禄支所建て替えについて	(1) 建て替えに関する現在までの取り組みと進捗状況を伺う (2) 建て替えの場所は決まっているのか伺う (3) 建て替えの早期実現に向けて今後どのように、具体的な取り組みをしていくのか、又、そのスケジュール等も併せて伺う
		2 道路行政について	(1) 小禄赤嶺線整備事業の現在までの進捗状況を伺う (2) 平成 24 年 9 月定例会で用地取得交渉が難航しているとの答弁があった。その後の対応と経緯を伺う (3) この事業は、平成 16 年に着手し、平成 24 年度完了予定だったが、用地取得等の遅れから、事業期間を延長し、平成 27 年度で完了することになっている。予定通り完了するのか伺う
		3 交通行政について	那覇内環状線 221 号線（通称：那覇大橋通り）の山下交差点側歩道と那覇大橋側歩道との間に 1 箇所横断歩道を新設してほしいとの地域住民や学校側から強い要望があるが、その件に関して当局の見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（１日目） 平成 25 年 9 月 13 日(金)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
9	宮 里 光 雄 (自民・無所属 ・改革の会) 質問方式 一問一答方式 (演壇・質問席)	1 久茂地都市 開発株式会社 有価証券の処 分について 2 沖縄都市モ ノレールにつ いて 3 2020 年東京 オ リ ン ピ ッ ク・パラリンピ ック開催決定 について	経緯と内容について説明を求める (1) 延長事業の進捗状況と今後のスケジュールについて伺う (2) 駅名の選定又は変更の手続きについて伺う (3) 車内アナウンスの内容決定及び変更の手続きについて伺う 開催意義について当局の見解を求める
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（１日目） 平成 25 年 9 月 13 日（金）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
10	亀 島 賢二郎 (自由民主党) 質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)	1 協働のまち づくりについて 2 観光行政に ついて	マスコミの調査によると、1995 年、27.8%も あった自治会加入率も今年の調査では 20.9%、 約 7%低下したという発表があったが、本市が目 指す協働のまちづくりには自治会の担う役割は 大きなものである。そこで以下質問する (1) 九州地区の他の中核市と本市の自治会加 入率の比較について伺う (2) 自治会加入率を上げるための現状の課題 と今後の取り組みについて伺う (1) ウォーターフロント構想により若狭地区 海岸周辺では人工ビーチが賑わい大型旅客 船バースを利用した海外からの観光客が増 えている。また今年からは波の上うみそら公 園が利用でき、本市の観光地としての更なる 期待がある地域だと思うが、観光地区として 当局の期待と見解を伺う (2) 更なる観光の入口としてどのような整備 を計画しているか伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長